

# 保健所部会の概要

令和8年1月23日開催

## 【議題】 新型インフルエンザ等に係る入院調整関連の保健所業務について

- 令和6年度までの部会において、入院・入所体制の課題の一つである「組織」について、保健所の業務負荷軽減を図るため、県内の入院・入所調整業務を一元的に調整する組織の設置（コロナ期の課題を踏まえ、「医療機関への依頼」や「患者への入院・入所決定の連絡」まで含む）で合意。
- 令和7年度は、継続審議となっていた下記の2つの論点について事前に整理するため、ワーキンググループ(WG)を開催し、以下のように整理した。
  - (1) 一元化(集約化)する範囲と、各保健所で行う業務  
入院調整に関連する13業務を細分化し、右図①～③に区分し、整理した。
  - (2) 時期(フェーズ)の整理  
流行初期（発生公表から1ヶ月程度）に、基本的に「最大の体制」に移行することを想定する整理とした。

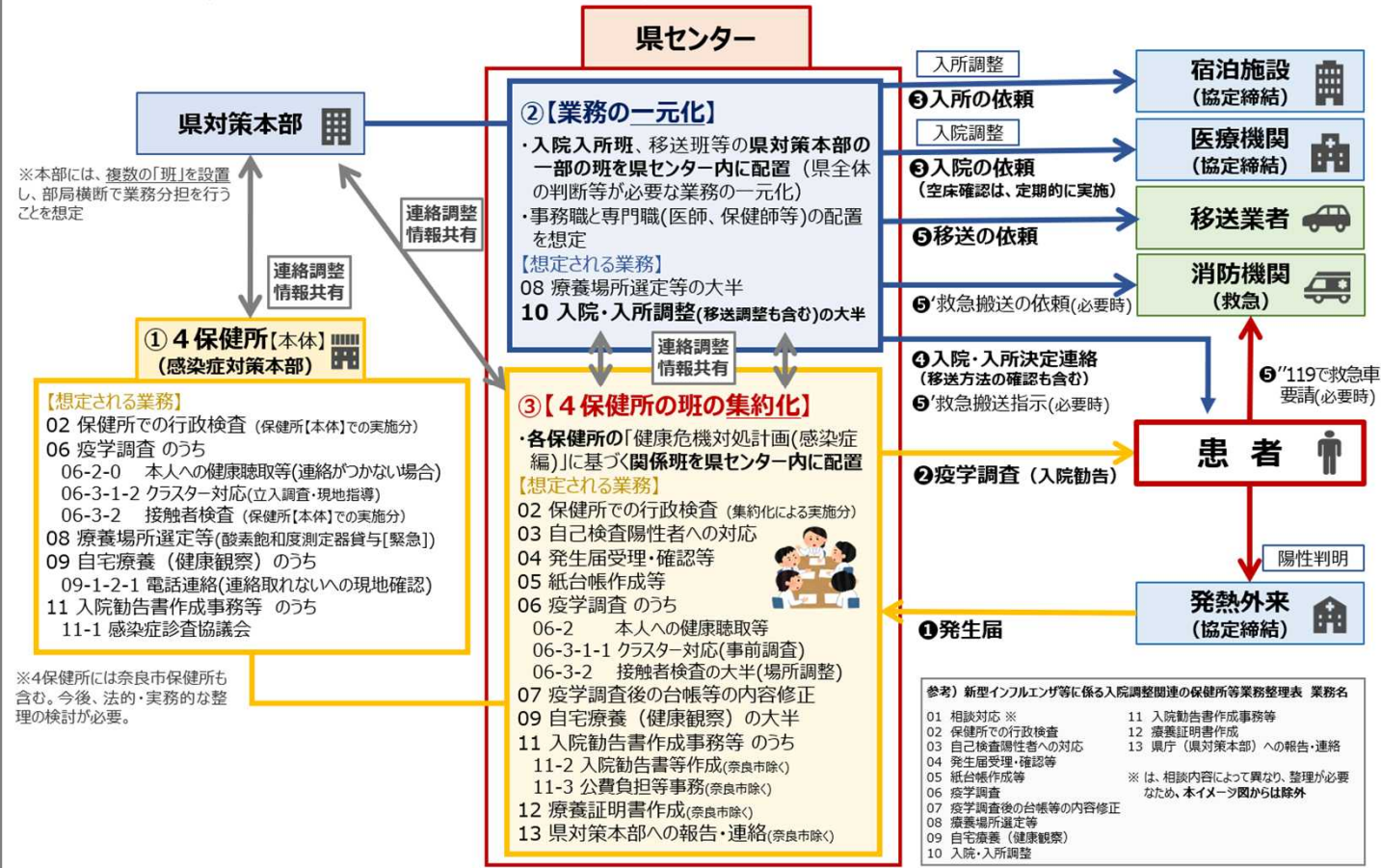
➤ (1)、(2)の整理を基礎として、関係者間で詳細な調整を行いながら検討を進めることで合意した。

➤ 令和8年度は、今回の整理を基礎として、「入院調整」及び「移送体制」をテーマとし、関連する部分について協議を進める。  
【継続審議】

## 新型インフルエンザ等に係る入院調整関連の保健所等業務の一元化・集約化のイメージ図

資料 5

※資料4「新型インフルエンザ等に係る入院調整関連の保健所等業務整理表」のイメージ図として作成。  
※今後の議論における方向性を示す基礎資料として、暫定的に作成したものであり、最終案ではありません。



令和7年度第1回奈良県感染症対策連携協議会保健所部会資料(一部抜粋)

### (委員意見)

- ・ 事前のWG（ワーキンググループ）での意見が反映された整理になっている。
- ・ 消防としても、一元化による調整は効率的であると考えており、県センターに人員を動員し対応する体制を検討したい。